

よいや～の風によって



令和8年7月16日(木) No.24 校長 東原 宏章

「さようなら 高城台小給食室」

今日の給食は、牛乳、ごはん、カツカレー、野菜サラダでした。



今朝、低学年の子どもが私に話しかけてきました。
「校長先生、知っていますか。今日で高城台小学校
でつくる給食は終わりですよ。」
「終わりですか。」
「そう、終わりです。私はいやだなあと思います。」

高学年の子どもも話しかけてきました。

「調理員さんや栄養士さんはどうなるのですか。」

「調理員さんや栄養士さんは高城台小を去ることになります。」

「さようなら、ということですね。とても悲しいです。」



最後の日ということで、給食時間には調理場にい
らっしゃる5名の調理員さんたちが、配膳場まで出て
きてくださいました。栄養士さん1名とともに、子ども
たちと言葉を交わしてくださいました。子どもたち
は、「ありがとうございます。」「お世話になりました
。」と言いながら、調理員さんたちに手を振ったり、
おじぎをしたりしていました。

【調理員さん、栄養士さんへ】

夏場は30度を超える調理場でのお仕事は過酷なものだったと拝察いたします。

子どもが食べやすい味や、食材の大きさにこだわってくださり、安心安全で、愛情たっぷりの給食を提供してくださってきたことに心から感謝申し上げます。



明日は終業式に続いて、調理員さんや栄養士さんとのお別れの式があります。

よいや～の風にのって



令和8年7月22日（水）No.25 校長 東原 宏章

「1学期に頑張ったこと夏休みに頑張りたいこと」

7月17日（金）の1学期終業式で、2名の児童が全校児童を代表して、「1学期に頑張ったことと夏休みに頑張りたいこと」を発表してくれました。

二人とも経験したことや思い描いていることを具体的に示しながら、自分なりのこだわりを発表してくれました。また、学校のことだけではなく、「家族のために」「家族に頼らずに」と、「家族」をキーワードに話をしてくれました。

堂々とした態度、思いのこもった発表に全校児童、全教職員が聞き入りました。

三年〇組 〇〇 〇〇

一学きにがんばったことは学習中の発表と妹のおせわです。

発表はまちがっても今後の学習につながると先生が言ったからがんばろうと思いました。発表をしてあっていたときは自分の意見が言えてスッキリした気持ちになります。

発表をして、あっていなかったときはおちこみますが、まちがえてしまった所をふりかえりました。少し自分がせい長したと思いました。

わたしの妹は今年一年生になりました。わたしは妹が安心して学校に行けるように学校までいっしょに行き教室まで送っています。わたしが一年生のころは何日もなきながら学校に行ってみんなを心ばいさせていたから、妹もそうならないようにがんばりました。それをつづけていたら、いつのまにか妹がほとんど泣かずに行くことができ、学校は楽しいと言って

いたのでほっとしました。

夏休みにがんばりたいことはしゅくだいやドリル、
てつだいです。

しゅくだいもがんばりたいけど、まちがった問題を
またまちがえないようにするために、しゅくだいとは
べつにドリルをやってべんきょうをがんばりたいと思
います。

手つだいはお母さんたちが大へんそうだから、ふ
とんをしいたり、テーブルをふいたり、せんたくものを
たたんだりなど、まずちょっとした手つだいからはじ
めたいと思います。

三年□組 □□ □□

わたしが一学きがんばったことは、算数の「暗算」
です。暗算というのは、たし算や引き算をノートに書
かずに頭の中で計算して答えをもとめることです。は
じめは、頭の中で計算するのがむずかしくて、指で

数えたり手のひらに式を書いたりしていました。くり上がりのない計算はかんたんでしたが、くり上がりのある計算になると、きゅうにむずかしくなって計算するスピードがおそくなってしまいました。

でも、くりかえしべんきょうするうちに、「かんたんな計算のコツ」を見つけました。このくふうをするようになってから、計算がとても速くなりました。自分でコツを見つけて、計算が速くなったときは、本当にうれしかったです。

次に、夏休みにがんばりたいことは、二つあります。

一つめは、「漢字の練習」です。三年生になって、新しくならう漢字がとてもふえました。とくにわたしは、「かんじょう」の「じょう」という漢字がなかなかおぼえられなくて、漢字五十問テストでも、いつも書けなくてくやしい思いをしました。そこで、この夏休みは、今まで習った漢字をまいにち練習して、かんぺきにおぼえたいです。そして、二学きの漢字テストでは、まん点とれるようにがんばります。

二つめは、「朝、自分で起きること」です。今はおかあさんにおこしてもらっています。アラームをかけることもあります、音に気づけないことも多いです。だから、夏休みは、前の日に早くねたり、起きる時間のもくひょうをすこし早くしたりして、自分で起きられるようになりたいです。そうすれば、二学きも楽しく学校に来ることができると思います。

みなさんも、あんぜんで楽しい夏休みをすごしてください。また八月九日に会いましょう。これでわたしのはっぴょうをおわります。

よいや～の風によって



令和8年9月1日(火) No.26 校長 東原 宏章

「1学期にがんばったことと
2学期にがんばりたいこと」

本日の始業式で、5年生児童2名が全校児童を代表して「1学期にがんばったことと 2学期にがんばりたいこと」を発表してくれました。

二人とも高学年らしく、学校行事や委員会活動に真剣に取り組んでいることや、自分の学習の仕方をコントロールしていることなどを、具体例を示しながら話してくれました。

堂々とした態度、思いのこもった発表に全校児童、全教職員が聞き入りました。

5年〇組 〇〇 〇〇

1学期にがんばったことは、運動会です。運動会では、最後まであきらめずに走ったり、みんなで協力しながらソーラン節を踊ったり、何度も練習に取り組みました。その結果、本番では練習の成果をはっきりすることができました。

運動会を通して、みんなで力を合わせて1つの目標に向かってがんばることの大切さを学ぶことができました。

2学期にがんばりたいことは、苦手な教科にもあきらめずに取り組むことです。私は、国語の勉強が苦手なので、文章問題をよく読んで、内容をきちんと理解できるよう、一日一日あきらめずに取り組みたいです。

何事にもチャレンジする気持ちを忘れずに、1学期よりさらに成長できるようにがんばりたいです。

さらに、2 学期にはとても楽しみにしている宿泊学習があります。友達と協力して活動し、学校では学習しないことをたくさん学んで、思い出に残る宿泊学習にしたいと思っています。これで発表を終わります。

5年□組 □□ □□

ぼくが1学期にがんばったことは、2つあります。

1つ目は、「運動会」のソーラン節です。踊る時にははだして踊るので、足が痛くてうまく踊れない時もありました。けれど、気合いを入れて練習に取り組んだら、痛みを忘れて踊ることができました。本番では、それまでで一番上手に踊ることができて、とても嬉しかったです。

2つ目は、漢字を覚えることです。2回目の50問テストでは、あまりいい点数を取れず落ち込みました。そこで、1回目のテストに向けて苦手な漢字を一

生懸命覚えました。その成果で、2回目の50問テストでは、いい点数を取ることができました。

ぼくは、この2つのことを通して、うまくいかない時でも最後まであきらめずに取り組むことが大事だなと思いました。

2学期は、給食委員会の活動がんばりたいです。1学期は給食を食べるのが遅くて、給食の食缶を片付ける仕事に間に合わなかった時がありました。2学期は、給食を早く食べ終わり、しっかり準備して全校のみんなのために頑張っていきたいです。

よいや～の風にのって



令和8年9月3日(木) No.27 校長 東原 宏章

「本当の楽しさを手に入れよう」

9月1日(火)の始業式では、「自分の思いや考えを自分の言葉で伝え合ってほしい。」という願いのもと、「本当の楽しさを手に入れよう」という話をしました。

学年間で若干の差異はありますが、今年度4月に実施した学力調査等の結果、本校の子どもたちの学力(知識・技能と思考)は概ね良好でした。

ただし、「思考」を「思考力・判断力・表現力」に分けてみると、「思考力・判断力」に比べて「表現力」がやや低いという結果となっています。

これを、算数科の学習場面で考えてみると、「文

章題を読み取る力や、式を立てる力はあるが、なぜ、その式になったのか、その理由を説明する力がやや低い」ということになります。

このこと（「思考力・判断力」と比べて「表現力」がやや低い）は、昨年度から私たち教師も肌で感じていたことで、今年度から「思考」に焦点を当てた算数科の研究を進めているところです。

前置きが長くなりましたが、始業式で話した内容をスライド形式でお伝えします。

スライド①

2がっき しぎょうしき

ほんとうの
たのしさを
てにいれよう



スライド②「さて、考えてみましょう」

1ねんせい 1がっきの さんすうの もんだい
みかんが 8こ あります。
りんごが 5こ あります。
どちらが どれだけ おおいですか。



スライド③「答えは こうなりますね。」

こたえ

みかんが 3こ おおい



スライド④「式はどうなりますか？」

しきは？



スライド⑤「式は このように なりますね。」

しき

$$8 - 5 = 3$$



スライド⑥「説明すると となると、案外 難しい。」

しきは $8-5$ ですね。

なぜ、 -5 (ひく5) を したのですか。

せつめいしてください。

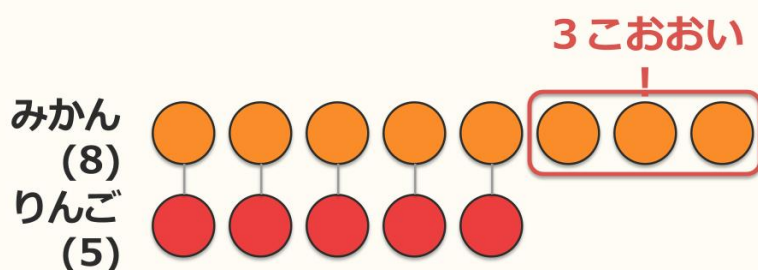


スライド⑦「図を使って近くの人に説明してください。」

しきは $8-5$ ですね。

なぜ、 -5 (ひく5) を したのですか。

したの ずを つかって せつめいしてください。



スライド⑧「本当に 考えているのは どちら？」

あなたの のうみそが
たくさん あせを かくのは

1 せんせいや ともだちの せつめいを
きいているとき？

2 じぶんが せつめいしているとき？



スライド⑨「自分の 言葉で 説明していると のうみそも
たのしい！」

あなたの のうみそが
たくさん あせを かくのは

あなたが じぶんの かんがえを

じぶんの ことばで せつめいしているとき！



スライド⑩「のうみそが 楽しいときは あなたも 楽しい」

あなたの のうみそが
たくさん あせを かいているとき

あなたは えがお
ひょうじょうは
いきいきとしている！



（最後に、次のようなことを話しました。）

「失敗を恐れずチャレンジしよう！」

「これからも、正しく、はやく、答えを出すことは大切です。ただし、自分の思いや考えを、相手がわかるように伝える力は、これまで以上に求められることになるでしょう。」

「自分の思いや考えを、ほかの人に任せずに、自分の言葉で伝え合いましょう。」

よいや～の風にのって



令和8年9月10日(木) No.28 校長 東原 宏章

「少しずつ 少しずつ」

2学期が始まって1週間が経ちました。子どもたちは少しずつ日常を取り戻しつつあります。

一説によれば、子どもたちが1学期の頃と同じように気力と体力を取り戻すには1週間から3週間かかると言われています。

つまり個人差があるということです。私たちはこの個人差に丁寧に対応していこうと思っています。

さて、2学期から中部給食センターの給食が配送されるようになりました。

メニューも材料も1学期の頃とは変わりませんが、調理する場所が違いますから、若干味付けに違いがあるようです。

子どもたちからは、野菜メニューの味付けが少し薄いかなあ、などの感想があがっています。味付けに関しては慣れるしかないのだろうと思っています。

給食に関しては、調理される方、配送される方、配膳される方、給食担当の教員などの尽力により、大きな混乱はなく、1週間が過ぎようとしています。

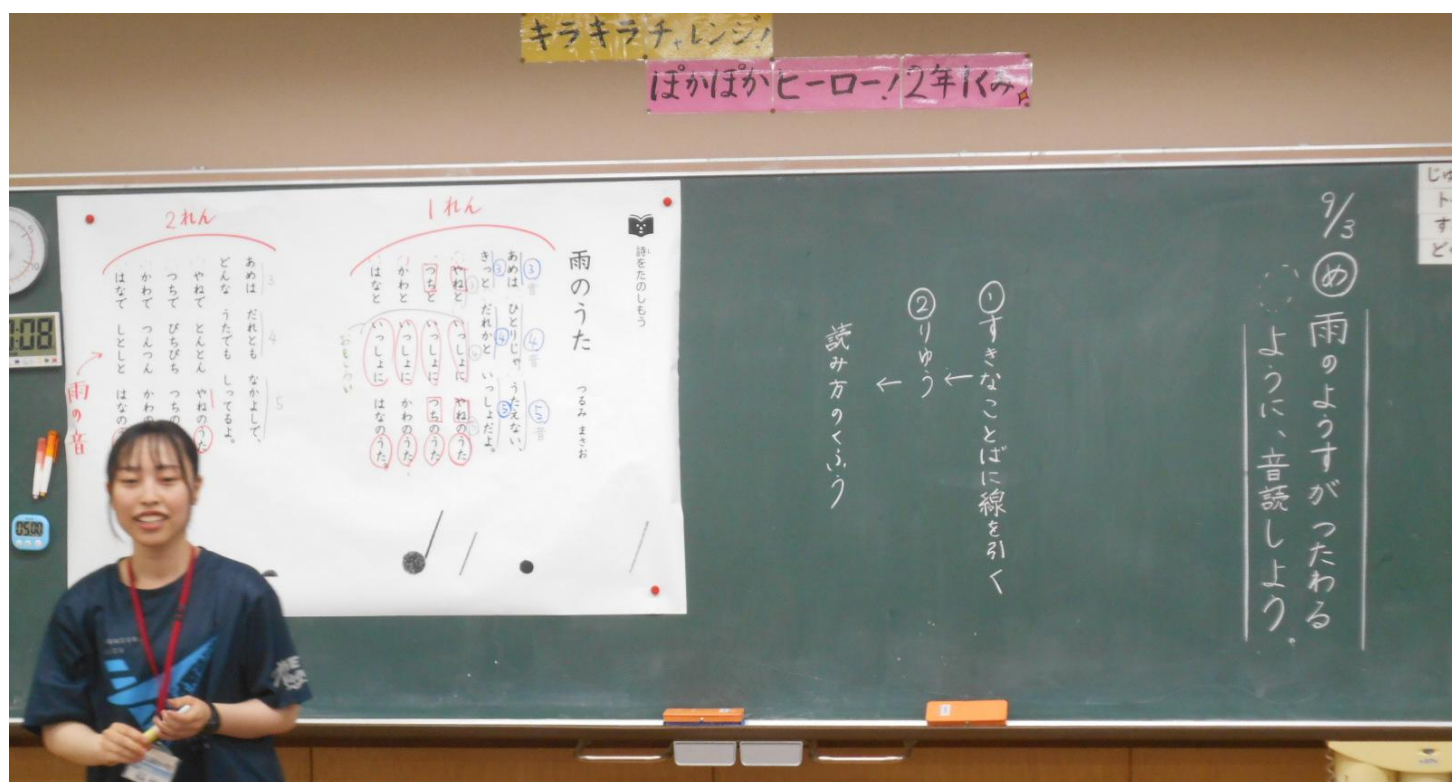


【9月2日の給食：ジャガイモのベーコン煮 野菜ソテー他】

授業に関しても、日常が戻りつつあります。

下の画像は、低学年の授業。

詩の好きな言葉を見つけて、なぜ、そこが好きな
のかを考えて、書き表す学習が進んでいます。



下の画像は、中学年の授業。
学級の係を決める話し合い活動をしているところ
です。話し合い活動といっても、学級活動の時間では
ありません。れっきとした国語の授業です。国語
の授業の中で話し合いの仕方について学んでいる
ところです。



下の画像は高学年の授業です。

2人組で話し合っているところです。高学年に限らず、それぞれの学年で、「なぜ、自分がそう思うのか」を自分の言葉で話したり、書いたりする活動に取り組んでいるところです。



日差しも幾分弱くなり、秋の気配を感じるようになりました。子どもたちが学校生活に慣れるように個別に対応しながら、学びの充実を図っていこうと考えています。

よいや～の風にのって



令和8年9月11日(金) No.29 校長 東原 宏章

「修学旅行で見えてきた高城台っ子の強み」

修学旅行 1 日目の午後、子どもたちは6つの班に分かれて、「あそんもんツーリズム」の体験活動に参加しました。6つの体験コースは次のとおりです。

○そば打ち体験



○織物体験



○絵本&工作体験



○押し花体験



○木工体験



○染物体験



6つの体験活動には、それぞれに指導をしてくださる方や、補助をして下さる方々がいらっしゃいました。その方々が口々に次のように話してくださいました。

「高城台小の子どもたちはしっかりと話を聞きます。おかげで想定時間よりも早く、作業を終えることができていました。また、体験活動の振り返りを書くときも、全員が集中して書くことができていました。紙

面いっぱい体験活動の感想を書いていただいて、準備してきた者として、本当に良かったと心から思いました。」

子どもたちをほめていただいて、私も大変嬉しく、誇らしく思いました。

確かに、6つのグループ全てが予定時間より早めに活動を終わっていました。子どもたちは余った時間を有効活用して、広場で遊んだり、他の活動にチャレンジしたりしていました。よく頑張ったご褒美の時間でした。

よいや～の風にのって



令和8年9月18日(金) No.30 校長 東原 宏章

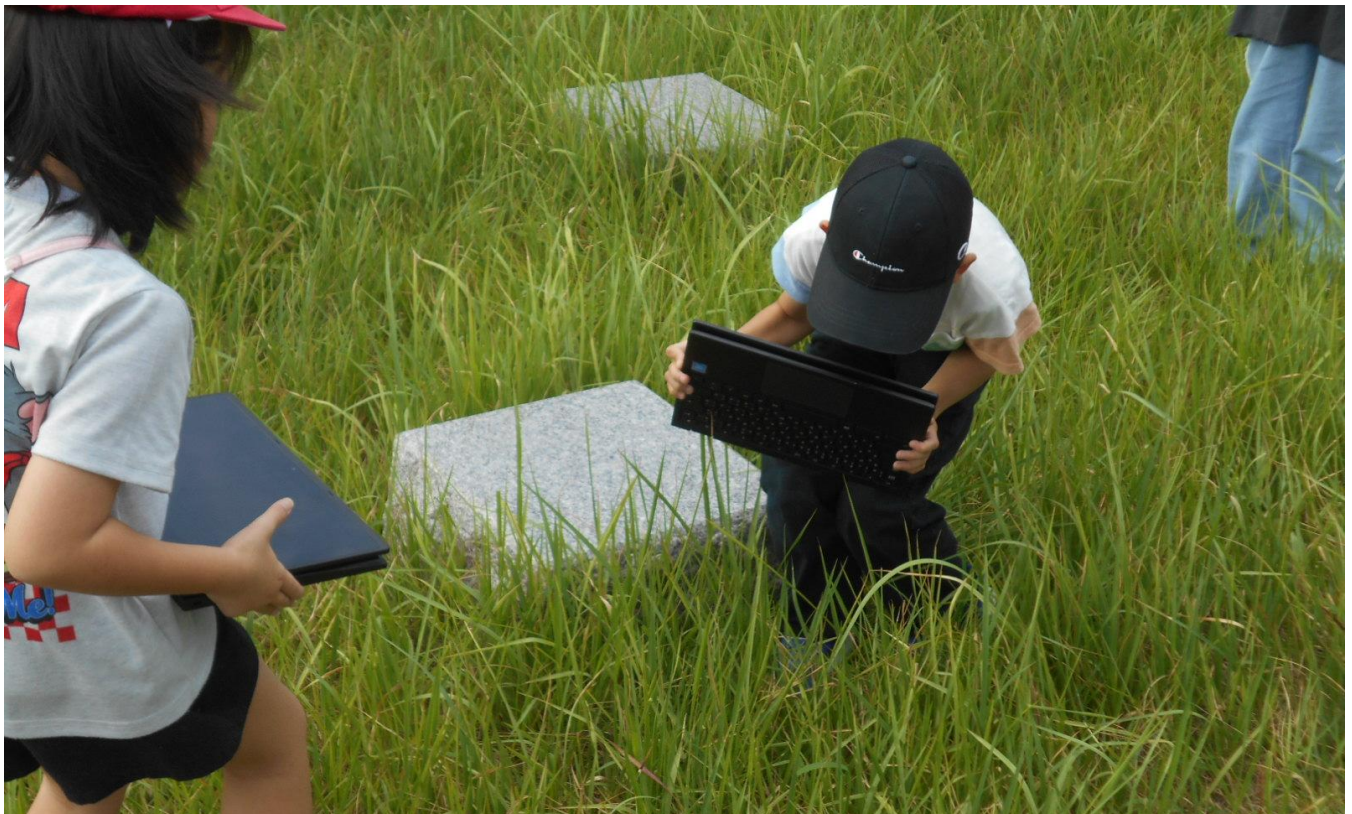
「うみかぜ公園と高城神社」

9月16日(水)と18日(金)に学校に隣接する「うみかぜ公園」で、3年生の子どもたちによる「秋の虫の観察学習」が行われました。
(16日は2組、18日は1組でした。)



子どもたちが到着する前の「うみかぜ公園」では、あちらこちらからコオロギの鳴き声が聞こえていました。しかし、子どもたちが公園に散らばり始めると、虫の音はピタリと止まりました。

下草がすねのあたりに当たって、「チクチクする。」と、足をかいていた子どもたちでしたが、草むらに足を踏み出すたびに、バッタやコオロギがぴょんぴょんと跳び出すので、子どもたちは足のかゆみも忘れて、虫たちを追いかけたり、タブレットで動画や静止画を撮影したり始めました。





公園の草むらは、きれいに刈られていました。観察にはちょうど良い草背丈で、安心して子どもたちの活動を見守ることができました。

日頃から通学路や公園の草刈りをしてくださっている地域の皆さんのご尽力のおかげです。この場を借りて感謝申し上げます。

公園のすぐ下には小さな社（やしろ）があります。
高城神社です。高城神社の周辺も掃除が行き届いていました。

神社の外構にそって彼岸花が咲き始めていました。
これから秋が深まっていくのでしょう。



【高城の地名の由来】

戦国時代に諫早城主の西郷氏が多良見や飯盛、矢上に勢力圏を伸ばし、城を築き、矢上城はその支城の一つであった。

高台にある城だったので、矢上城は別名「高城」と呼ばれていた。

高城台の造成にあたり、城跡はなくなったが、「高城台」として高城の地名は残り、高城神社が祀られている。※「新長崎郷土誌」より引用



